

水産資源委託調査

澤田 兼造・小倉大二郎・菊谷 尚久

発表誌名

昭和59年度沿岸重要資源委託調査結果報告書

抄 録

1. 漁 況

昭和59年1月～10月の間における沿岸重要魚種漁獲量（県統計）は346,687.4トンで、昨年同期（385,230.4トン）の90%であった。なお対象魚種別の漁獲量は以下のとおりである。

- (1) マイワシ：漁獲量248,100トンで、昨年同期（273,314.6トン）の91%
- (2) ウルメイワシ：昭和36年以降漸減状態にあり、昭和55年以降は皆無。
- (3) カタクチイワシ：漁獲量116.2トンで、昨年同期（64トン）の1.8倍。
- (4) マアジ：漁獲量0.2トンで、昨年同期（0.1トン）の2倍。
- (5) スルメイカ：漁獲量70.810トンで、昨年同期（61,197.8トン）の1.1倍。
- (6) マサバ：漁獲量50,654トンで、昨年同期（20,074トン）の2.5倍

2. 魚体調査

青森市後潟の小型定置網における漁獲量を対象に調査した。

(1) マイワシ

体長は9.5～22.0cmの範囲で、最大モードは4・5・10・11月の17.0cm、最小モードは12月の11.5cmであった。体重及び肥満度はそれぞれ10～105g、8.5～15.0の範囲にあった。年令は5～6月に雌雄とも3～4才魚が出現したが、これ以外では2才魚が主体であった。なお最高は11月にみられる5才魚であった。

(2) カタクチイワシ

体長は6.0～14.5cmの範囲で、最大モードは7月の12.0cm、最小モードは9月の7.5cmであった。体重及び肥満度はそれぞれ5g未満～35g、8.5～15.0の範囲にあった。年令は7～8月は2～3才魚、9月は1才魚であった。

(3) マサバ

体長（尾叉長）は11.0～29.0cmの範囲で、最大モードは8月の24.0cm、最小モードは9月の15.0cmであった。体重及び肥満度はそれぞれ10～270g、9.5～15.5の範囲にあり、また年令は1～2才魚の範囲にあった。

(4) マアジ・スルメイカ

マアジは調査日に漁獲がなく、スルメイカもまとまった漁がなかったため調査できなかった。